

開催日	平成20年1月23日(火) 14:00～16:00
出席者	区民5名・担当職員
テーマ	「新宿区一般廃棄物処理基本計画素案」(「ごみ半減・リサイクル倍増」)に対する説明を受け、パブリックコメントを各自提出する。
会議内容 意見交換等	<p><b>1「新宿区一般廃棄物処理基本計画素案」の説明</b></p> <p>説明：環境土木部資源清掃対策室リサイクル清掃課事業計画係担当職員 基本計画素案(小冊子)に基づき説明があった。</p> <p>計画理念 リサイクルをすることによりごみの発生を抑えることを基本とし、リサイクルは環境負荷を考慮して推進する。</p> <p>説明後の質疑応答(抜粋)</p> <p>Q、何故17年度を比較対照年としたのですか？ A、本来は直近の18年度とするところでしたが、計画策定時にまだ18年のデータが出揃っておらず17年度のデータを基本とした。この数値に関しては18年とくらべても大きな変化はありません。</p> <p>Q、ごみ量は景気が左右するのでは？ごみの減少がいちがいにリサイクルに関係しているといえないのでは。 A、おっしゃるとおり、景気等にも左右されるので、今後10年間で数値の見直しは必要となってきます。</p> <p>Q、リサイクルの環境負荷は一般区民に見えづらいのではないでしょうか？ 今後は、そのしくみ、製品の周知がなされれば、だんだん資源回収に意欲が出るのでは？ A、再商品化業者(資源回収業者)ではまずコークス・炭化水素油・コークス炉ガスに再生しています。その後製造業者に渡されます。今後検討していきたい。</p> <p>区民意見 区民センターの1階に展示したりするといいいのではないのでしょうか。</p> <p>Q、東京都23区で新宿区のような資源回収をする区は何区あるのですか？ A、23区中13区あります。これは、各自治体の考え方に任せられています。</p> <p>Q、今後モデル地区でアンケートした結果や、工夫、体験談を聞かせていただきたい。 A、現在各地区で分別ごみの「説明会」が行われています。ぜひご参加ください。</p> <p>Q、災害時のごみ処理はどういう計画になっているのでしょうか？不衛生な環境が二次災害(伝染病)に繋がることも懸念されます。 A、それについては新宿区が適切に処理いたします。</p> <p>以上の質疑応答があり、パブリックコメントは各委員が提出することとした。 今後も、分科会としてこのような勉強会(説明会)を重ね、地域への情報発信を行いたいと締めくくられた。</p> <p><b>2.花いっぱい運動について</b></p> <p>花園小学校の参加意向について・機会があれば運動の中心となってくれる方の紹介も含めて学校側に打診して将来的には参加していただきたい。</p>
次回日程	3月19日(水) 14:00～ 四谷特別出張所 会議室 2月は会議休会です。
テーマ	春の「花いっぱい運動」の計画(花の苗の選定等)